

高校生たちは見た！

高校生たちは立ち上がった！

高校生たちは団結して立ち向かった！



ようか 八鹿高校事件 51周年記念

映画と講演のつどい

風光明媚で自然豊かな田園地帯、兵庫県・^{たじま}但馬地方
教師たちは長時間のリンチを浴び続けた。

高校生たちは「先生たちを救おう！」と救出に挑んだ。

但馬で何が起きたのか。今を生きるあなたに知ってほしい。

とき **2025年11月30日（日）** 午後1時30分～4時30分

ところ **クリエイトセンター（茨木市民総合センター）2階 多目的ホール**

入室時、スリッパに履き替えます。上履き持参も可

1:30 あいさつ

JR茨木駅から東へ徒歩10分、
阪急茨木市駅から西へ徒歩12分

1:40 映画『**八鹿高校事件**』上映（55分）

2:40 講演『**八鹿高校事件と八鹿高校生**』（100分）

講師 ^{はま}濱 ^{みちお}道生 さん（当時八鹿高校2年生 阪南大学名誉教授）

濱さんはその日、校内に潜入し糾弾の現場
を目撃。以後、新聞部に。

のち、生徒自治会執行委員長

4:20 意見交流

4:30 終了

入場無料（よろしければカンパをお願いします）

当日参加歓迎 予約不要



主催：「映画と講演のつどい」茨木実行委員会 連絡先：梅田 072-622-7667

協賛：茨木教職員組合 茨木市役所職員労働組合 子どもと教育を守る茨木市民の会
茨木労働組合総連合 全日本年金者組合茨木支部 大阪府立高等学校教職員組合
大阪府立障害児学校教職員組合 大阪教育文化センター 大阪はぐるま研究会

八鹿高校事件とは： 「部落解放同盟」による教職員への集団リンチ事件（1974年11月22日）。「部落解放同盟」は学校長に作らせた生徒の「解放研」の公認を要求。すでに部落研サークルがあり、「解放研」は「部落解放同盟」の指導する組織なので教職員はこれを拒否。教職員は「部落解放同盟」に襲撃され、13時間にわたる集団リンチにより、58名が負傷、うち29名が入院（重傷者13名）という日本の教育史上例をみない大惨事となった。残虐行為が部落解放の名で行われた。20年間に及ぶ裁判により、原告の教職員61名は1996年に「全面勝訴」した。



← 最も凄惨なリンチを受け死線をさまよった片山正敏教諭（日本史・兵庫高校組但馬支部長）。入院は109日間に及ぶ。

八鹿高校教職員に落ち度はない

神戸地方裁判所豊岡支部の判決文（1990. 3. 28）から

- 1、いわゆる八鹿高校事件（暴行、傷害、監禁、強要など）は、その動機、態様、結果いずれをみても、現行法秩序の到底許容し得ない違法行為である。
- 2、被告両名は共に、右事件を惹き起こした最高指導者としての民事責任を免れない。
- 3、右事件の発生につき、原告ら「八鹿高校教職員」の側に非難さるべき落度は認められない。

本件は、解放研をあくまで承認せず解放研生徒との話し合いを拒否する原告ら八鹿高校教職員に対し、被告両名に指導された南但馬の解放同盟が、共闘会議に名を籍りて差別者の汚名を着せ、徹底した私的制裁を加えて解放同盟に対する無条件の屈服を迫った事案であり、その態様は、白昼公道で原告らに襲いかかり集団暴行を加えて校内に連れ戻したうえ長時間にわたって校内各所に監禁し、その間執拗かつ凄惨な暴行、脅迫、傷害を加えた挙句、原告らにその意思に反して自己批判書を書かせたというものであって、本件不法行為は動機、態様、結果等のいずれをみても極めて悪質といわざるをえない。

（大阪高裁1992. 7. 24、最高裁確定1996. 2. 8. 確定）

マスコミは沈黙した。

だが生徒たちは

『八鹿高校新聞』（新聞部）

文集『八高11・22その日』（生徒自治会）

などを次々と作成・発行。

地域に配付し事実を伝えた。

生徒の勇氣ある行動は、

大人を奮い立たせた。

これが八高暴力事件の真相だ！

八鹿高校新聞

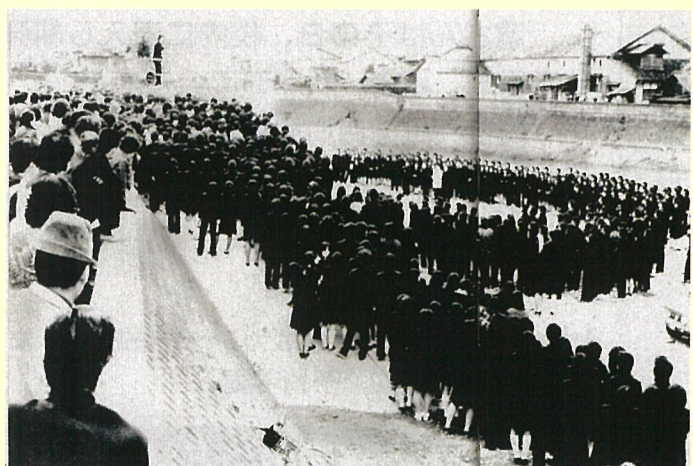
この新聞は、八鹿高校の生徒たちが、部落解放同盟の暴行に抗議し、真相を伝えるために発行された。内容は、事件の経緯、被害者の苦しみ、そして生徒たちの怒りと決意が詳しく記されている。この新聞は、地域に配布され、多くの人々の心を打動した。

八高11・22その日 第1集

この集は、八鹿高校暴力事件の真相を伝えるために発行された。内容は、事件の経緯、被害者の苦しみ、そして生徒たちの怒りと決意が詳しく記されている。この集は、地域に配布され、多くの人々の心を打動した。

八高11・22その日 第2集

この集は、八鹿高校暴力事件の真相を伝えるために発行された。内容は、事件の経緯、被害者の苦しみ、そして生徒たちの怒りと決意が詳しく記されている。この集は、地域に配布され、多くの人々の心を打動した。



↑ 暴力反対、先生を返せと宣伝カーの「部落解放同盟」に迫る八鹿高校生。